



2014年3月25日(火)～29日(土)

12時～19時(最終日のみ11時～17時)

船場アートカフェ(辰野ひらのまちギャラリー)

〒541-0046 大阪府大阪市中央区平野町1-5-7 辰野平野町ビル地下1階

入場無料

○アーティストトーク

3月28日(金) 18時～19時半

ゲスト=石川ちあき(アーティスト)

聞き手=中川眞(大阪市立大学大学院文学研究科教授)

司会=石川優(大阪市立大学都市文化研究センター研究員)

参加無料・当日先着順受付

主催=大阪市立大学都市研究プラザ船場アートカフェ

<http://art-cafe.ur-plaza.osaka-cu.ac.jp>

石川ちあき個展

食卓から 生まれる アート 「主婦」の創造力



「主婦」の創造力 食卓から 生まれる アート

石川ちあき 個展

社会を生きる上で、私たちはさまざまな属性をまとっています。その属性は私たちの社会的生活を支えると同時に、しばしば生きづらくもさせます。

この個展では、「団塊の世代」で「通勤族」の夫をもつ、「主婦」による抽象画をとりあげます。一般に、「主婦」は家事や育児などを担う既婚女性を意味します。美術教育を受けていない彼女にとって、絵を描くことは「趣味」や「習いごと」ではなく、性別役割分業に基づく属性から自由になる「日常の中の非日常的瞬間」です。家族の集う食卓で、ひとりで描き上げる作品には「妻」でも「母」でもない、ひとりの女性の「心のひとつひら」がうつし出されています。作品展示とアーティストトークを介して、女性がより豊かに、そして自由に生きていくためにアートができることについて考えます。



1



2



3



4



5



6



7



8

1 無題 2 無題 3 白と黒I 4 再生
5 赤と黒III 6 混沌 7 無題 8 ロマネスク
表面 Energy

○アーティストトーク

アーティスト・石川ちあきさんをお招きして、作品や制作活動について語っていただきます。お話をとおして、職業や趣味としてではない「アート」のもつ意味や、女性とアートの関係について考えます。

日時=2014年3月28日(金) 18:00~19:30

会場=船場アートカフェ(辰野ひらのまちギャラリー)

ゲスト=石川ちあき(アーティスト)

聞き手=中川真(大阪市立大学大学院文学研究科教授)

司会=石川優(大阪市立大学都市文化研究センター研究員)

○作家プロフィール

石川ちあき

福井市出身。「通勤族」の夫をもつ「主婦」として、東京、福岡、大阪、和歌山、奈良を転々とする。二児の母。孫がひとり。1995年より、ポスターカラーやアクリル絵具を使用し、色彩を重視した抽象画を制作する。家事の合間をぬって描き上げられた作品総数は、1,500点を超える。本人曰く、絵を描くことは「心の昇華」。個展「ちあき展」(ギャラリー香、2001年)。

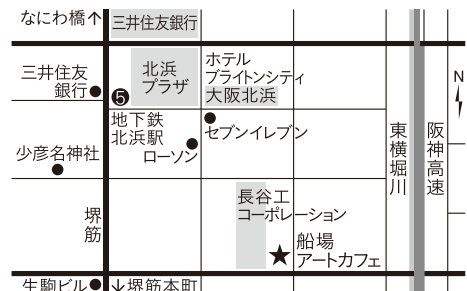
○お問い合わせ

ishikawa@lit.osaka-cu.ac.jp (石川)



〒541-0046 大阪府大阪市中央区平野町 1-5-7 辰野平野町ビル
地下1階 辰野ひらのまちギャラリー(南東角の屋外階段から地下へ)
E-mail: art-cafe@ur-plaza.osaka-cu.ac.jp
URL: http://art-cafe.ur-plaza.osaka-cu.ac.jp

船場アートカフェは、大阪市立大学・都市研究プラザが運営する現場プラザです。



地下鉄堺筋線北浜駅5番出口から徒歩5分